

開催地名：倉敷市立西中学校	
開催日時	令和3年12月22日（金） 9：00 ～ 10：00
開催場所	倉敷市立西中学校体育館
語り部	鈴木 秀光 （宮城県気仙沼市）
参加者	倉敷市立西中学校 第2学年生徒・教職員（約320名）
開催経緯	<p>今年度に入り、当市において同日に震度3の地震が2度発生しており、災害に対する備えは常に必要であるが、コロナ禍で訓練も実施できていない状況である。</p> <p>また、自主防災組織は、地域の安全を守るために基礎となる組織であり、防災の観点のみならず地域づくりの一環でもあり、組織の育成を促進しなければならない。当市は、少子高齢化により、一人暮らしの高齢者の増加、子供の減少は、地域の絆の弱体化に繋がっており、自主防災組織の要となる「防災リーダー」の養成が課題となっている。</p> <p>加えて、市職員においては、災害時には市内各地域において先に立つことを求められ、防災に関する知識を習得し、市職員一人ひとりが日頃から自主的な防災意識を持つことが必要であると考えている。</p>
内容	<p>(1) 気仙沼市における東日本大震災の記憶</p> <p>東日本大震災当時、気仙沼市は複合災害に悩まされた。地震、津波による被害はもとより、海面に浮かぶオイルタンクの損傷、油の漏出による火災被害が特に大きかった。瓦礫が油を吸い、瓦礫に燃え移った火が海上を漂いながら、町へと広がっていった。</p> <p>津波の力によって、550トンある船が町へ流されてきたり、瓦礫が道路を埋め尽くしたりと、いち早い救助の妨げとなる状況が起こった。まずは道路を広げるところから始まった。しかし、人がいるかもしれないので、手作業でどけるしかない。これらの悪条件が重なって、約1,300名ほどの人命が失われた。家屋についても、気仙沼市全体の約4割に被害があった。経済面でも、水産加工や魚市場など、海の近くの産業が多かったため、8割の会社に被害があった。市全体の人口が当時7万4,000人いたのだが、そのうちの約2万人が避難者となった。</p> <p>(2) 大災害時に命を守るには</p> <p>まず、避難指示におけるレベル5「緊急安全確保」の段階は、すでに川が決壊していたり、洪水が発生していて、避難すること自体がもう危険な段階だということを憶えておいてほしい。こうなると、とにかく屋上に上が</p>

	<p>るなど、命を守る行動をする段階である。</p> <p>避難とは、字のごとく、「難を避ける」ことであり、危険なところから危険でないところに行くことである。よって、学校や公民館に逃げるのはもちろん、安全な場所の親戚や知り合いの家に行くことも避難になる。</p> <p>大災害時には地面の液状化も起こるので、どういった場所が危険か、どこが安全かを平時からハザードマップで確認しておきたい。</p> <p>洪水や津波は、到達までに猶予がある。しかし、地震だけは突然襲ってくる。一発目の地震からまず身を守るために、身体を隠すことが重要だ。</p> <p>(3) 災害対策はフェーズゼロで</p> <p>眠っている間は気をつけることができない。夜中に地震が起きたとして、上から物が落ちてこないかを考える必要がある。また、落ち着いて逃げられるように、平時から部屋を整理整頓しておくことが重要だ。</p> <p>災害が起きてからどうする、ではなくて、災害が起きる前、平和な今日が災害のフェーズゼロと考えて、今なら何ができるかを考える。災害は止められないが、減災活動に取り組むことで被害を減らすことができる。</p> <p>「明日災害が来る」、今日がその前日だと思って、具体的な減災イメージを持つことが大切である。</p> <div data-bbox="512 1173 892 1458" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="919 1173 1378 1458" data-label="Image"> <p>The infographic '新たな避難情報' (New Evacuation Information) details five levels of disaster response:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>Level 5 (警戒レベル5):</b> 緊急安全確保 (Emergency Safety Assurance) - 災害発生 (Disaster Occurrence)</li> <li><b>Level 4 (警戒レベル4):</b> 避難指示 (Evacuation Instruction) - 避難指示・避難勧告 (Evacuation Instruction and Advice)</li> <li><b>Level 3 (警戒レベル3):</b> 高齢者等避難 (Elderly and Others Evacuation) - 避難準備・高齢者等避難開始 (Evacuation Preparation and Start of Evacuation for Elderly)</li> <li><b>Level 2 (警戒レベル2):</b> 大規模・広域注意報 (Large-scale/Regional Warning)</li> <li><b>Level 1 (警戒レベル1):</b> 早期注意情報 (Early Warning Information)</li> </ul> </div>
開催地より	<p>災害はいつ起こってもおかしくない。また起きてしまったらもう人間の力ではどうしようもないことがたくさんあることを改めて実感した。災害発生前に、避難経路を決めたり、家具を固定するなど、出来る限りの減災を実施したいと感じた。</p>